

# けいはんな学研都市ヘルスケア開発地域

## 無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発～ヘルスケアクラスターの構築を目指して～

### 総合調整機関

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構  
〒619-0237  
京都府相楽郡精華町光台1丁目7  
けいはんなプラザ ラボ棟3階  
TEL0774-95-5047

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…関西経済連合会
- 学…**奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学、大阪大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、同志社大学、大阪電気通信大学、産業技術総合研究所関西センター**
- 官…京都府、大阪府、奈良県
- 金…南都銀行、京都銀行、**関西文化学術研究都市推進機構**



プロジェクトディレクター  
**寺崎 肇**

略歴：1983年京大工学卒。同年三洋電機入社。知能ロボット、ヘルスケア等の研究・事業開発に従事。ロボットPJ BUリーダー、メカトロシステム研究部長等を歴任。博士（工学）。

世界的に広がる高齢社会の進展に伴い、生活習慣病の患者や寝たきり高齢者が増加していく。これらを予防し、健康寿命を延ばすこと、高齢者のQoL (Quality of Life) を向上させることが、医療・介護費の抑制のみならず、人々の幸せのために重要なテーマである。我々は、「この地域に住めば健康長寿で幸せになれる」を合言葉に、ヘルスケアシステムの研究開発・事業化に取り組んでいる。

## 地域イノベーション戦略

高齢化社会による医療費負担の急増、また高度ストレス社会による心の病の増加など、我が国の国民的課題が顕在化する時代背景にあって、今後は国民一人ひとりが自分の健康に責任を持ち、積極的な健康管理を行い快適な健康長寿生活を送ることが望まれている。このような時代背景を踏まえ、当地域では“心と体の健康を守るヘルスケアシステムの開発”を通してイノベーションを継続的に創出し、ヘルスケアクラスターを構築することを目指して「無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発」に取り組んでいる。

## 事業の内容

### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：奈良先端科学技術大学院大学ほか6大学）

戦略構想実現には、当地域で不足する技術シーズを保有する研究者を域外大学・研究機関や域内外企業から7大学に8名を招へいして、次の3つのテーマについて研究開発の加速を図っている。

- ① SoC (System on a Chip) 応用生体計測センサ研究
- ② 無意識生体計測&検査機器研究
- ③ 非血液バイオマーカー探索と評価・検査研究

特に地域構想の中心となる無意識生体計測機器やシステムの研究開発において国内の第一人者といわれる研究者を当地に招へいすることで研究開発はもちろん、研究者の人材育成や地域ポテンシャルの底上げにも貢献している。

### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：奈良女子大学）

奈良女子大学が独立行政法人科学技術振興機構（JST）からの支援を得て、これまで取り組んできた“まほろば・けいはんな科学ネットワーク”を継承し、ヘルスケア分野における将来の日本社会を担うエンジニアの卵を育てる新たな人材育成プログラムの実施に向けて、プログラム開発等に取り組んでいる。

### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：関西文化学術研究都市推進機構）

戦略構想の実現に向けてプロジェクトディレクター及び地域連携コーディネータを配置し、大学・研究機関の保有シーズと企業シーズのマッチングを図るため、次の事業を実施している。

- 知のネットワーク構築推進会議など学識経験者等による委員会の設置、運営
- 学研都市内外の関係機関や大学のリエゾン組織との協力による産学官連携の推進
- キックオフフォーラムの開催など研究開発成果の普及活動等

### 4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：同志社大学）

同志社大学において研究用にfMRI（磁気共鳴映像法）が設置されているが、ヒューマンヘルスケアに対する様々な生体情報の検証実験等に極めて有用な設備であることから、けいはんな学研都市ヘルスケア開発地域における企業・大学等研究機関での研究設備として開放している。今後も利用説明会の実施等により設備の共用化を進める。

